

ライフスタイルセンシングのご紹介

電力 × プラットフォーム × 労務削減

～自治体と連携した予防から未病～

MBTリンク株式会社

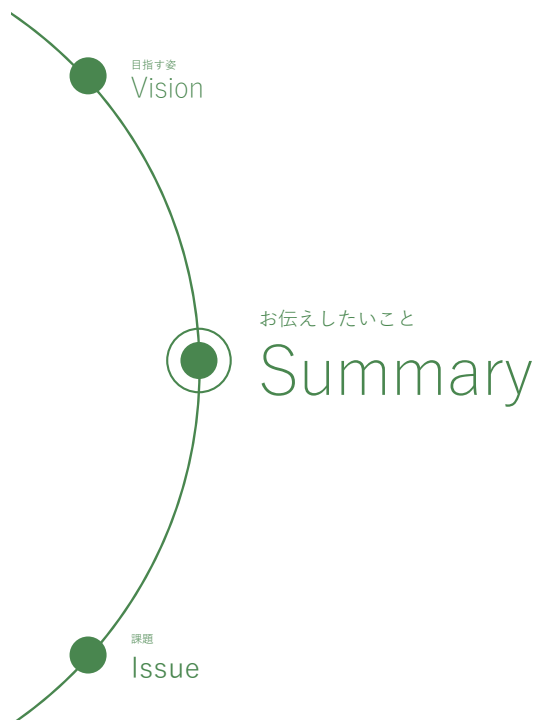


医療を基礎としたまちづくり

Medicine Based Town

今、地域には健康寿命の延伸、介護の担い手の不足、繋がりの希薄化など、複雑な課題が重くのしかかっています。

奈良県立医科大学発のスタートアップである私たちは、「医療と生活が融合したまち」という新しいアプローチによりこれらの地域課題の解決を目指しています。



ご利用者、ご家族とのエンゲージメントを高める

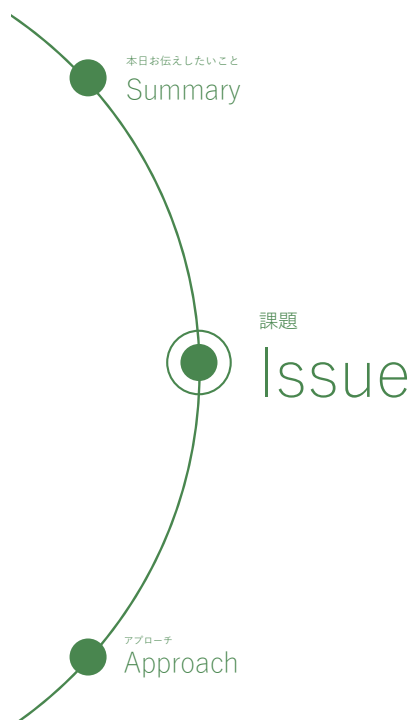
これからの時代の信頼の架け橋

住み慣れた家で「いつもの暮らし」を安心して続けたい。
日々の暮らしを、自分らしく、豊かに過ごしたい。

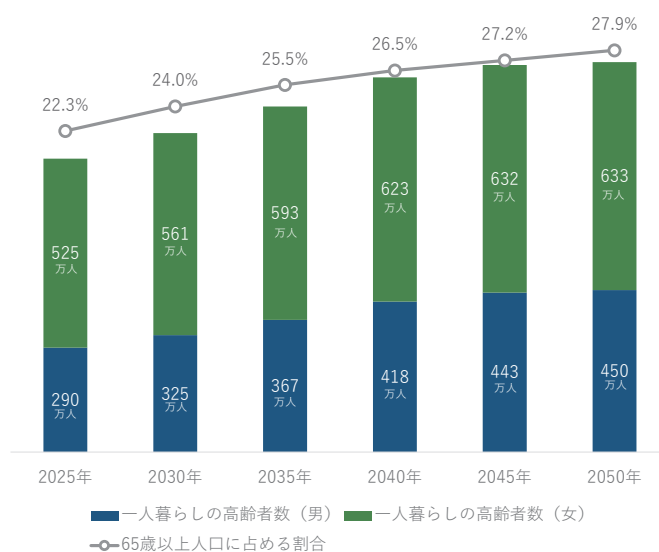
在宅での暮らしが当たり前になるこれからの時代。
その願いをかなえる鍵は、「生活に潜む小さな変化」に気づくことだと私たちは考えています。

ご利用者一人ひとりの生活や大切にしていることを丁寧に紐解き、
ご家族や地域の関係者の皆さまと繋がりながら、信頼を紡いでいく。

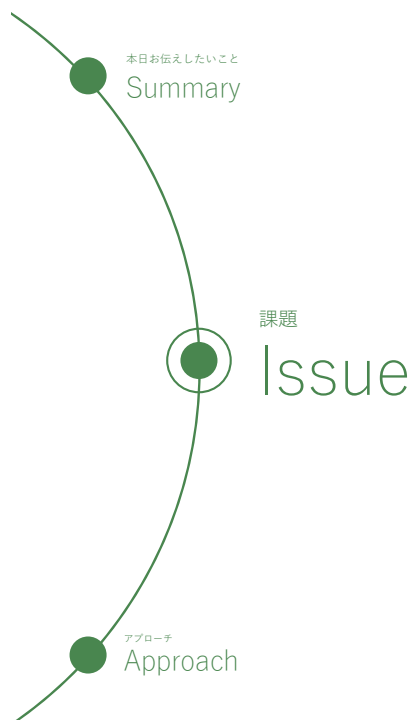
その実現に向けた「新しい伴走のかたち」を、私たちはご提案いたします。



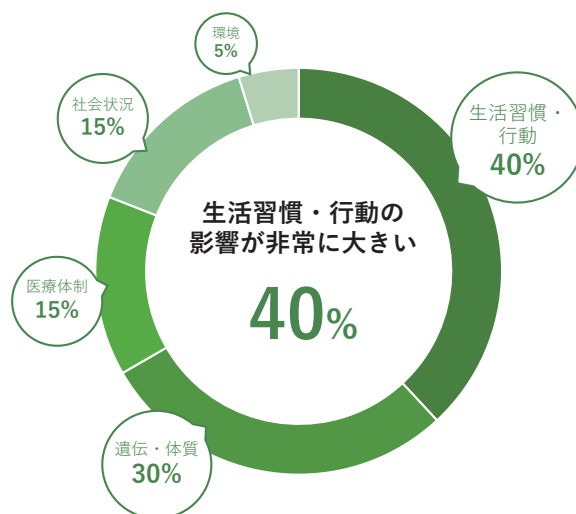
一人暮らしの高齢者数の将来推計



出典：内閣府「令和6年度高齢者白書」より作成



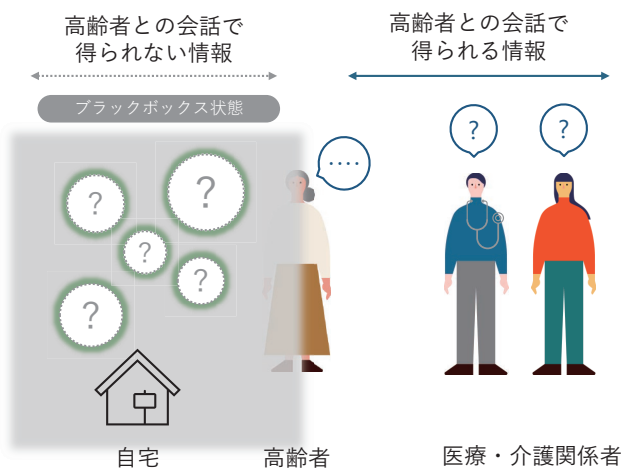
健康寿命に影響を与える要因



出典：Schroeder, SA. N Engl J Med 2007; 357:1221-1228



高齢者の健康管理の難しさ



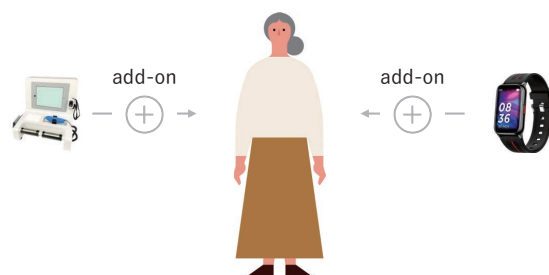
得られる情報が少ない

限られた時間の会話で得られる情報は限定的であり、
生活習慣・行動の実態がほとんど分からない。



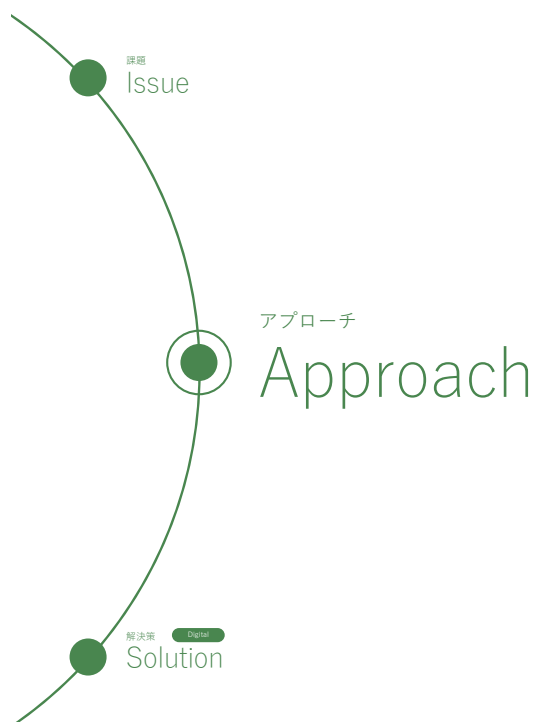
これまでのアプローチ

add-on型ヘルスケア



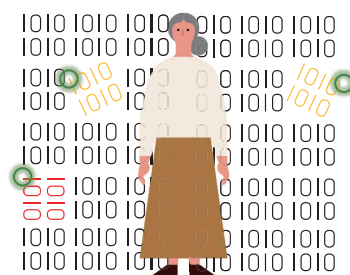
生活への影響が大きい

生活習慣・行動を把握するためにデバイスを追加
やるが多くなり、高齢者には継続が困難



新しいアプローチ

built-in型ヘルスケア



生活への影響がない

普段使われていない電力データを生活習慣等の把握に活用
高齢者に負担がなく継続も可能



10種類の家電の使い方を推定する電力センサー

家電の使い方から生活習慣・行動を推定



ご家庭のブレーカーに
設置するだけ

※30分程度で工事完了

主要家電**10**種を識別可能

データ量は他方式の**30**倍

※1分に1回の計測頻度



スマートメーターを使った見守りとの違い

スマートメーター

電力センサー



データの
解像度

平均電力
使用量
(1種類)

10倍

10種の家電の
電力使用量

データの量
(計測頻度)

30分に1回

30倍

1分に1回

推定できる
こと

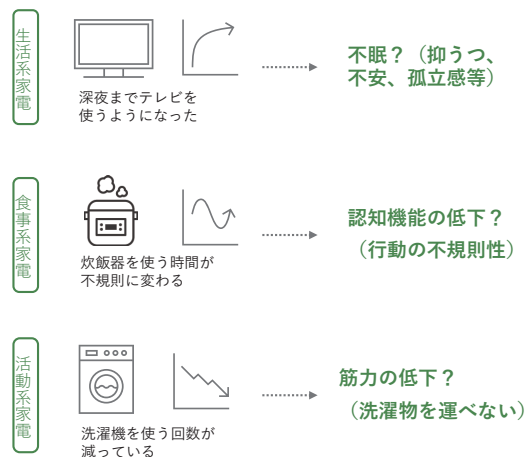
安否のみ

生活のパターン／
生活の質

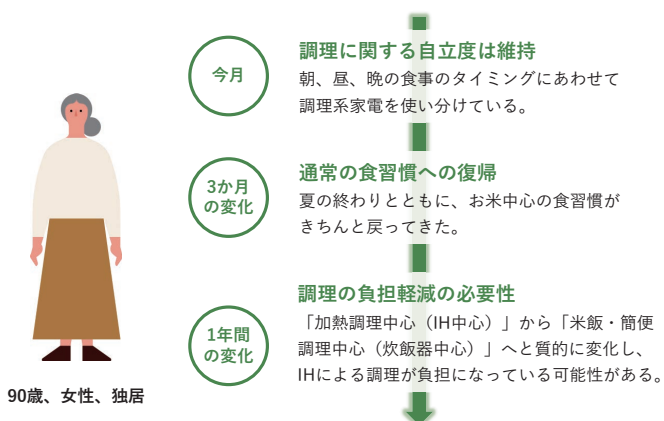


家電の使い方から推定できること（例）

ライフスタイルセンシング



90歳、女性、独居高齢者の方の事例



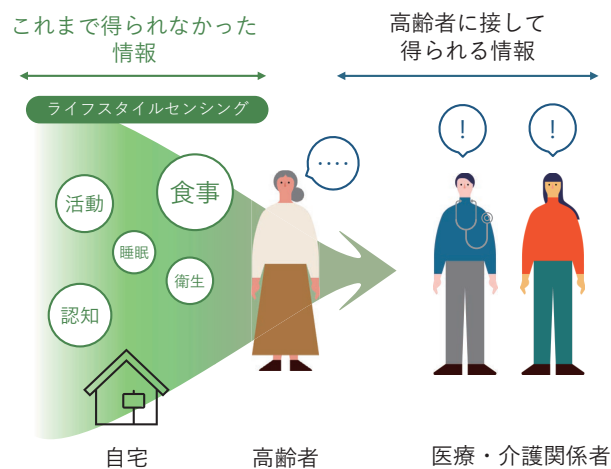
食事関連の習慣・行動に対する示唆（例）

調理活動は全体的に高い意欲を保ちつつも、前年と比較すると調理の負担軽減の必要性を示唆する変化がうかがえる。

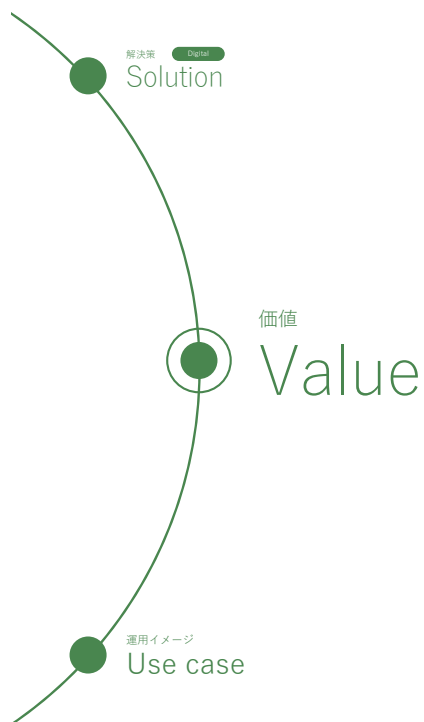
ご本人の状況を踏まえ、調理補助椅子の活用や重労働の部分への支援など、調理の負担を軽減する環境調整を要検討。



健康管理に使える情報が増加



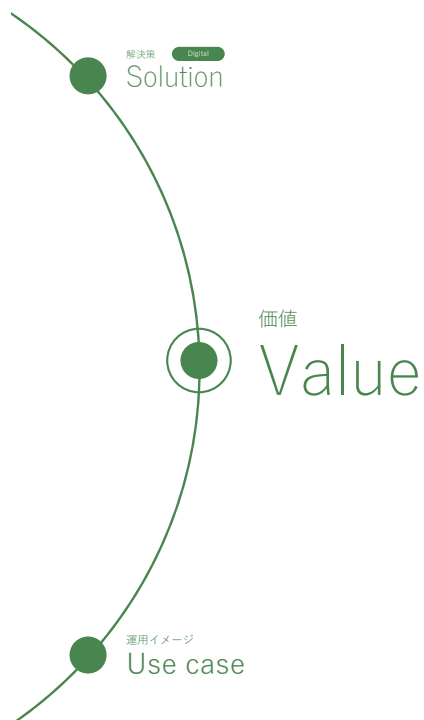
健康寿命への影響が最も大きい
生活習慣・行動の実態が可視化できる。



早期検知、早期対応でサービスの質が向上



データの変化を早期に察知し、対応することで、
「利用者の自立」や「重度化防止」をサポート



暮らしがかわる、家族がつながる

Value 1
自立支援／
重症化予防



ご本人

ライフスタイル全般に加え、食事、活動、生活のスタイルが分かり、スコアの低い行動については、規則正しい生活をより心掛けるようになった。

Value 2
子世代が
見守りに参加



ご家族

親の生活の様子を知れるのは便利。冬など移動が困難な際は特に遠隔からのライフスタイルセンシングはとても便利。

Value 3
見守りの効率化
(労務低減)



ケアマネ

高齢者の方の生活の様子が遠隔から分かるので、サポート面においても効率化できて、非常に助かる。素晴らしいサービス、普及してほしい。



元気な時から中長期に関係性を構築





自治体様等と連携し約160世帯で展開開始

主な導入実績

HOKKAIDO
北海道

1 蛭と夜高あんどん祭の郷
沼田町

2 いつまでも住み続けたいまち
更別村

FUKUI
福井県

3 輝く笑顔が生み出す希望、
情熱よせ合うふるさと“おい”
おい町

OKINAWA
沖縄県

4 海と緑と光あふれる南城市
南城市

NAGANO
長野県

5 峠に囲まれた小さな山里
売木村

KUMAMOTO
熊本県

6 九州のどまんなか
宇土市

町営の高齢者向け住宅に設置して、見守りを実施

北海道 沼田町



住宅の概要
【構造】 鉄筋コンクリート造平屋建て
【取組み】 1LDK (約64㎡)
【設備】 カーテンレール、テレビ台、ユニットバス、洗濯乾燥機、ディスプレイ、IHクッキングヒーター、暖房器具、FF式灯油ストーブ、灯柱式掃帚、灯油タンク、物置、温湯洗浄便座付きトイレ
【住所】 〒078-8220 富田町南一条1丁目8番14号
あるくす24時間案内1号～5号
【取引】 毎年、世帯所得状況を確認した上で、その所得額により変動した24.0万円～63.5万円/月（毎月保証金にて支払）



▲1・3・5号車の間取り図
※2・4号車は間取りが左右逆になります

沼田町地域優良賃貸住宅
あるくらす団地A棟が完成



▲更衣所・お風呂・トイレも広々としており、着替えや洗濯などをするために十分なスペースを
保っております。

田辺町では、令和2年9月に奈良県立大学と協定でPM2.5研究所及びPM2.5リンク研究会を立ち上げ環境意識を醸成し、ICTを活用した健康づくりに、見守り支援などの事業を実施しています。

「あさくろがう」にはその事業の一環として、自宅の家電製品に電力センサーを設置し、家電品の電子部品の使用状況を電力で計測し、居住者の健康意識などを間接的に把握することができ、健康づくりにや家庭が適度に見守りを行うことができる仕組みを構築しています。

町民向けに内覧会を開催しました



成し9月30日(土)町民の方を対象に内覧会を行いました。

今回建設された「あるくらす団地A棟」は5月落成することができ、内覧には約60名の方が訪れ「収納スペースが多く、位置が若いので取り出しやすい」など実際に入居した際のイメージをしっかりと部屋を見ていました。



社会福祉協議会が見守りを行う村営住宅に設置

北海道 更別村



自治体、総合医等と連携した見守り体制を構築中

福井県 おおい町

